

## 第275回病院薬学研修会参加者アンケート集計結果

開催日時： 2016年3月18日(火) 19:00～20:30

開催場所： ソニックシティ 603会議室

講演1: 「分岐鎖アミノ酸顆粒製剤の特長  
～参考情報：製剤化の工夫及び肝癌発がん抑制への影響～

味の素製薬（株）関東信越支店 サイエンスコーディネーター  
林 徹志 先生

講演2: 「進化した肝臓治療～肝癌撲滅のために～」  
肝臓病教室の立ち上げと病診連携の現状  
BCAAの早期治療介入と内服率向上を目指して」

済生会新潟第二病院 消化器内科 部長 石川 達 先生

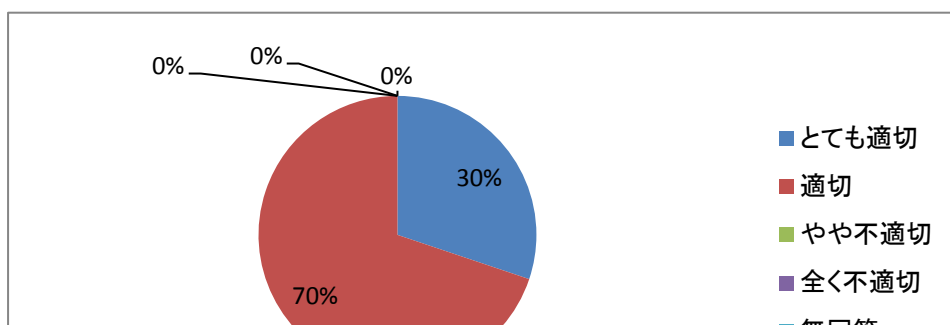
総合評点
3.3 (4件尺度)

	研修者数	アンケート提出数	アンケート回収率	アンケート意見あり (枚)
大宮	39	38	97%	8
獨協	11	11	100%	2
国際	6	6	100%	1
栗橋	6	6	100%	4
秩父	2	2	100%	0
合計	64	63	98%	15

評価記入---4. とても適切 3. 適切 2. やや不適切 1. 全く不適切

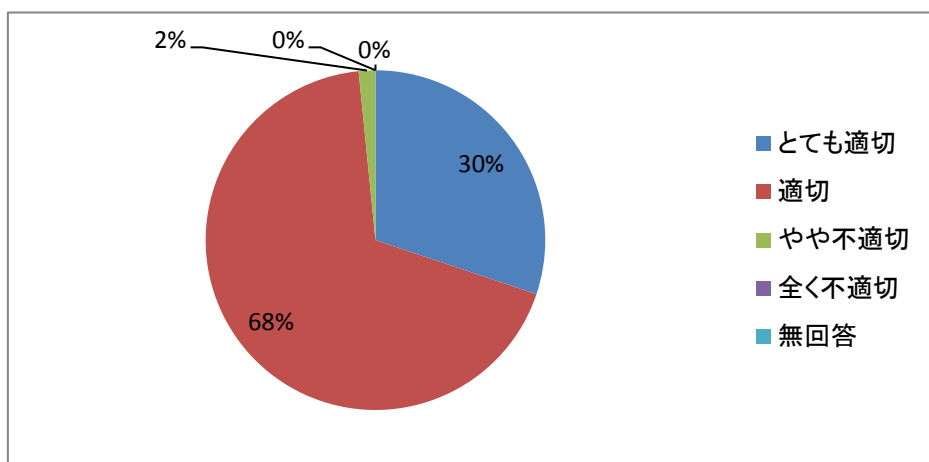
### 1. 講演テーマについて

1-①	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
大宮	14	24	0	0	0	3.4
獨協	1	10	0	0	0	3.1
国際	2	4	0	0	0	3.3
栗橋	1	5	0	0	0	3.2
秩父	1	1	0	0	0	3.5
合計	19	44	0	0	0	3.3

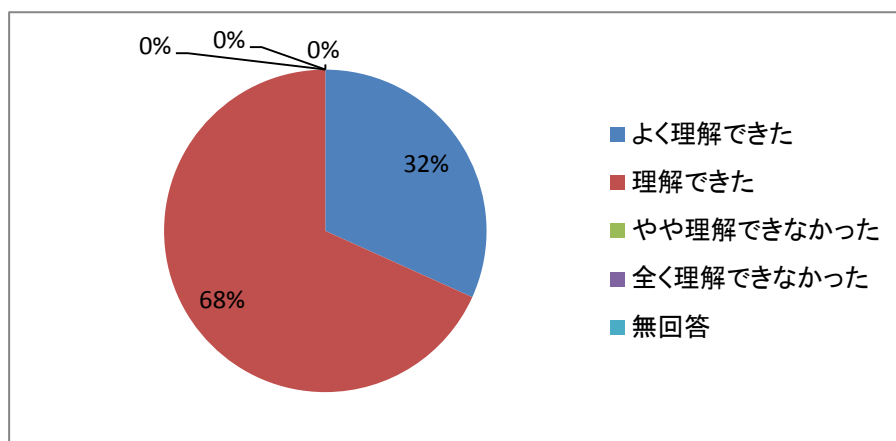




1-②	とても適切	適切	やや不適切	全く不適切	無回答	平均
大宮	16	21	1	0	0	3.4
獨協	1	10	0	0	0	3.1
国際	2	4	0	0	0	3.3
栗橋	0	6	0	0	0	3
秩父	0	2	0	0	0	3
合計	19	43	1	0	0	3.2

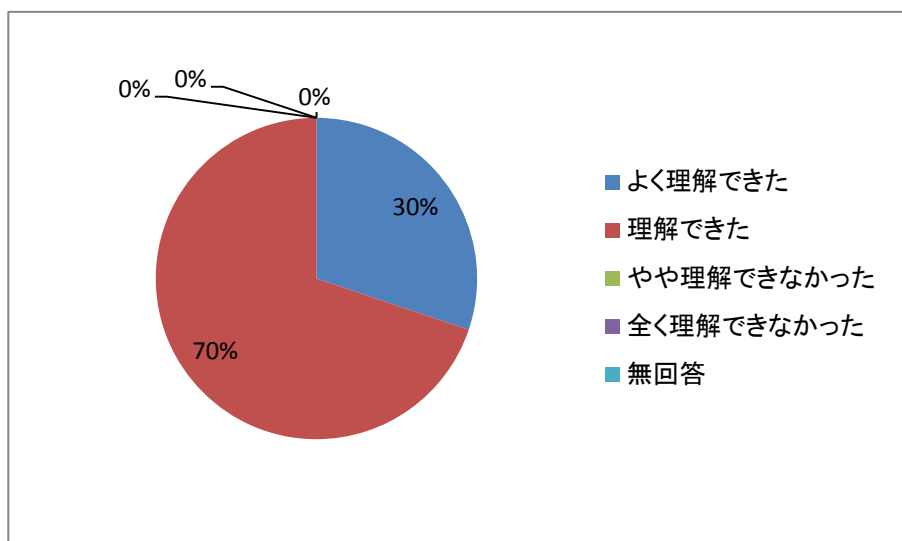


2-①	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
大宮	13	25	0	0	0	3.3
獨協	2	9	0	0	0	3.2
国際	2	4	0	0	0	3.3
栗橋	1	5	0	0	0	3.2
秩父	2	0	0	0	0	4
合計	20	43	0	0	0	3.4



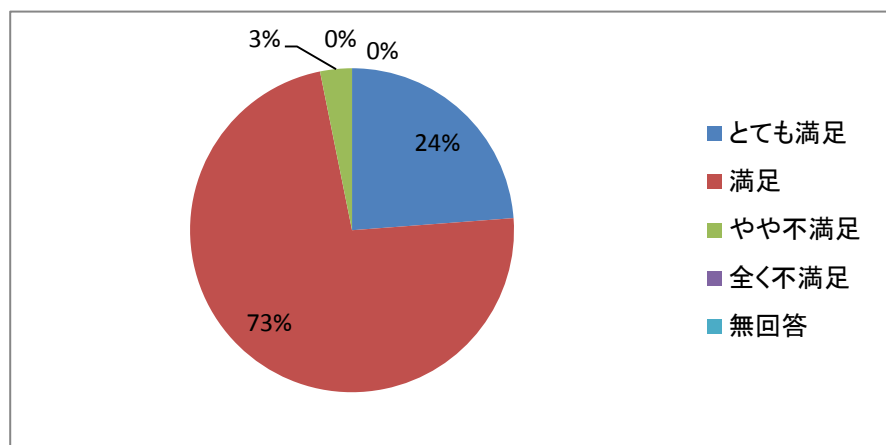
2-②	よく理解できた	理解できた	やや理解できなかった	全く理解できなかった	無回答	平均
大宮	15	23	0	0	0	3.4
獨協	1	10	0	0	0	3.1
国際	2	4	0	0	0	3.3
栗橋	0	6	0	0	0	3

秩父	1	1	0	0	0	3.5
合計	19	44	0	0	0	3.3



### 3. 本研修会の印象について

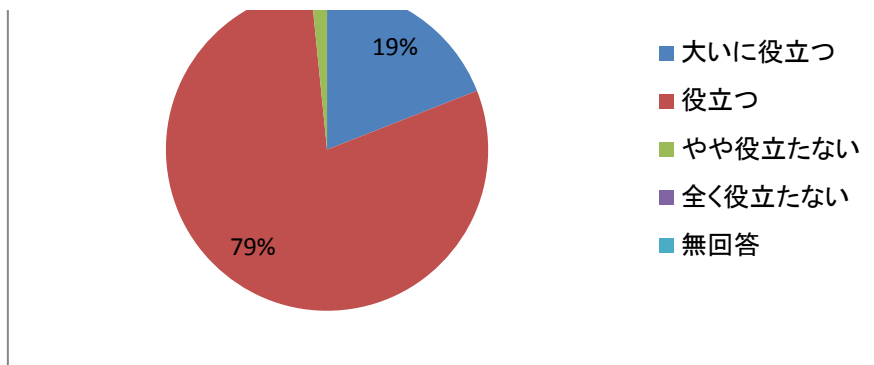
3	とても満足	満足	やや不満足	全く不満足	無回答	平均
大宮	11	25	2	0	0	3.2
獨協	0	11	0	0	0	3
国際	2	4	0	0	0	3.3
栗橋	0	6	0	0	0	3
秩父	2	0	0	0	0	4
合計	15	46	2	0	0	3.3



### 4. 本研修会で学び今後の業務に役立つか

4	大いに役立つ	役立つ	やや役立たない	全く役立たない	無回答	平均
大宮	9	29	0	0	0	3.2
獨協	0	11	0	0	0	3
国際	2	4	0	0	0	3.3
栗橋	0	5	1	0	0	2.8
秩父	1	1	0	0	0	3.5
合計	12	50	1	0	0	3.2





## 意見の記載(15枚)

### 2. 講演内容について

2-①<大宮>	リーバクトの1包量が減った理由を、今さらながら知ることができた	1
---------	---------------------------------	---

### 4. 本研修会で学んだことは今後の業務に役立つか

<栗橋>	もう少し薬理的な話を聞きたかった	1
------	------------------	---

### 5. 今後取り上げてほしいテーマ

感染症	1
肝臓領域	1
肝細胞癌治療方針	1
糖尿病	1
輸液	1
不整脈	1
浮腫、腹水の治療について	1
抗生剤	1
タケキャブ	1
副作用との切りわけができるためのスキルアップ	1
透析	1
DI業務	1

### 6. 本研修会で気づいたこと、感想、質問

<大宮>	林先生の話は大変明確で分かりやすかった	1
	石川先生の話は治療上の変え、アドヒアランス向上のための努力などが分かり大変勉強になった	1
	地域医療連携の話は得るものが大きかった	1
	フレーバーの話がとても参考になった	1
	開始時間と終了時間は情報通りに行ってほしい。遅らせるのが常時であれば、開始時間の変更をお願いしたい	1
<獨協>	BCAAアドヒアランスの向上には年齢や性別間での差はあっても、剤形変更だけでなくフレーバーの選択も考慮することが望ましいということが分かった	1
<栗橋>	金曜日の開催でよかった	1